

手指衛生について

手指衛生はすべての感染対策の基本です。医療従事者の手には見えない有機物や病原微生物がたくさん付着しています。手指衛生は、それらが人の手を介して、人や環境、器具等への伝播を防ぐ最も基本的かつ重要な感染対策です。手指衛生の種類と方法には、「流水と石鹼による手洗い」と「手指消毒」の2種類があります。

手指衛生の使い分け

- ・目に見える汚れがある場合：石鹼と流水による手洗い
- ・目に見える汚れがない場合：手指消毒

アルコールに抵抗性を示す病原体(クロストリディオides・デフィシル、ノウイルス)には無効

手指衛生の除菌効果

方法	除菌効果
手洗い	15秒: 1/4~1/13 30秒: 1/60~1/600
手指消毒	30秒: 1/3000

手指衛生5つのタイミング

- ①患者に触れる前
- ②清潔/無菌操作の前
- ③体液に曝露された可能性のある場合
- ④患者に触れた後
- ⑤患者周辺の物品に触れた後

手荒れ対策

- ①温水による手洗いは避けましょう
- ②十分な水で石鹼の成分を洗い流しましょう
- ③ペーパータオルで水分をよく拭き取り完全に手指を乾燥させましょう
- ④手荒れや傷がある時は、手袋を使用しましょう
- ⑤日頃からハンドケアを心がけましょう